

八代中体連駅伝に出場しました。

六中だより



文責 宮川 英樹

十月十四日(木)に県南陸上競技場周辺の周回コースにおいて、八代中体連駅伝大会が行われました。今回出場した選手や一緒に練習を続けたみなさんは、夏休み前から中体連陸上に向けて練習を重ねてきました。夏休みの暑い中も練習を行って来ました。しかし、八代中体連陸上が中止となり、感染拡大防止のための練習中止期間もあり、十分な走り込みができなまま本番を迎えました。

その中でも選手たちは、持っている力をすべて発揮し、たすきを最後までつなぐことができました。

これも、選手だけでなく一緒に練習したみなさんを含めたチーム六中の力だと思えます。

保護者の方も多数応援に来ていただきました。ありがとうございました。



【女子の部】



【男子の部】

あとがき

今年の5月ぐらいだったでしょうか。暗くなった球磨川の土手沿いで、車のライトが変なところ(下の方)に見えたので、車を止めて近づいてみました。そこには道路下に横転した軽トラクックがありました。

丁度そこへ4〜5人の八代工業高校の生徒が自転車で通りかかり、彼らもその軽トラに気付きました。彼らは部活後の帰宅途中のようでした。

私は彼らに、軽トラに誰がいるか、また意識があるかを確認してもらいました。中に人がいたので、意識はあるということだったので、彼らに119番に通報してもらい、私は110番通報をしました。

数分後、パトカー、救急車、消防車と集まり、救出作業が始まりました。あとは専門家にまかせようと、私は高校生たちにお礼を言い、警察の方へ声をかけて帰りました。

この件で感じたのは、高校生たちの受け答えや動きのよさです。私のお願いにも適切に対応し、車の中の状況を確認したり、出られない中の人を励ましたり、自分たちの安全も確保しながらテキパキと動いていました。救急車両が近づくと自分たちの自転車を邪魔にならないよう移動させていました。

彼らは部活動でもチームとしての動きなどを学んでいるんだらうな、と感じたところでした。

彼らの動きに「これまでの学びがこのような緊急時にも生かされてる」と感じた瞬間でした。